

⑦ 南空知玉葱出荷グループ

所在地 北海道

視察日 2017年8月24日(木)～25日(金)

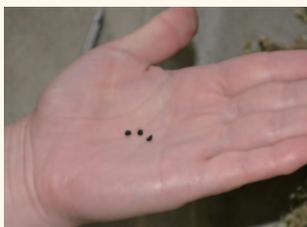
主な取扱品目 たまねぎ・トマト



北海道の札幌市、夕張市に挟まれた、南空知地区（岩見沢市、栗山町、長沼町）は、夕張川がもたらした肥沃な沖積土に恵まれた、北見、富良野に並ぶ有数のたまねぎ産地である。たまねぎ栽培の歴史は古く、100年以上も前から始まっている。南空知玉葱出荷組合は33軒からなるグループで2代目3代目と代々続くたまねぎ農家が多い。



商品の特徴



《たまねぎ》

11haある圃場で15種類もの品種のたまねぎを生産。多く出回っている品種はオホーツク222と北もみじ2000だが昔ながらの味を残す為に、100年以上前から作り続けられている在来種（空知黄）の黄玉の種子栽培も行っている。

《高糖度トマト》

化成肥料を使わず、米ヌカ・ミネラル（ノルウェー産海藻）・腐葉土、を使って土づくりにこだわり、糖度7度以上のフルーツトマトを生産。全てのトマトを糖度測定器で測定し、高品質を維持している。



生産者のコメント

有機肥料を使って土作りにこだわり、安全で安心して食べて貰えます。「美味しい」のお声が生産する私達の励みになります。



南空知玉葱出荷組合代表 坂野さん

参加理事のコメント

あいにくの雨で収穫体験が出来ず残念でしたが、その自然の中で生産されているのだと改めて実感しました。どこの生産地も苦労されているとは思いますが、南空知も今年の6月の雨の多さと7月の猛暑で生産量も2割減だとの事。安定した供給のためには、組合員も常日頃からの安定した利用や、農産物に対するサイズなどの規格を柔軟に捉えていくことが大切だと思いました。「工夫されていることは何ですか？」とお聞きすると、「とにかく真面目に玉葱を作っています」との言葉通り、真摯に生産されている姿を直接感じる事ができました。

